



日本共産党市議会議員

おぜき栄子の

無料法律相談会
毎月第1火曜日(おぜき栄子事務所)

にこっと通信

ホームページ <http://www.dl.dion.ne.jp/~smileiko>
Eメール smileiko@dl.dion.ne.jp

第71号

2013年5月15日(水)

足利市田中町789
第3石川ビル3階
市議会議員
おぜき栄子

子どもの権利が保障され、市民の暮らし福祉が充実する足利市に

3月議会報告

平成25年度の予算など審議されました。会期は、27日から3月21日の23日間でした。おぜき栄子は、41議案のうち、4つの議案に反対しました。

市民の安全健康 福祉の前進を!

- ① 足利市一般会計予算について
- ② 足利市介護保険特別会計予算について
- ③ 足利市国民健康保険特別会計予算について
- ④ 足利市後期高齢者医療特別会計について

反対理由

一般会計予算については、予算50.5億円で前年度比は1.4%増。
個人市民税収は、昨年と同等に推移、市民の収入は減少し続ける中、増税が市民の肩に重くのしかかっています。市民の暮らしは大変厳しい状況。市民の安全、健康、福祉を一步でも二歩でも前へすすめるために、自治体の責務として相応しい予算になっているのでしょうか? 以下の理由で反対しました。

① 市民サービスを充実させる土台となる職員は、正規職員を19人減らし、補助職員10人増やし、非正規化をさらにすすめました。自治体は、雇用に責任を持つべきです。

② 基幹系業務システムクラウド化事業を計上し、課税関係の業務を委託することになります。市民のプライバシーは、守られるのか心配。↓

④ 中小企業対策。長引く不況の中、中小零細企業が相次いで倒産しています。
金融円滑化法が今月で、終了します。継続を国に働きかけるとともにそれに替わる特別の中小零細企業支援の強化が必要。前年より、商工業振興費予算を1億円削減。融資の利子補給の復活、市民税等の軽減措置など最大の努力が求められます。

地元のひとと協力し、尾関議員が要求してきた田中町の渡良瀬川沿いの道路拡幅が完成し、安全に通りがやすくなりました。



拡幅前



拡幅後

介護保険料の 減免制度を!

介護保険特別会計予算に
いては、昨年、介護保険料と利用料の引き上げを行い、国負担による介護従事者への待遇改善手当ても無くなりました。国に対して、介護従事者の待遇改善を働きかけるとともに自治体としての最大限の努力が求められます。
とりわけ介護保険料を滞納している方で、利用料を↓

保険証の 取り上げ中止を!

国民健康保険特別会計予算については、昨年、基金から繰り入れを行い、国保税の引き下げを行い、市民から喜ばれています。今年度も基金を取りくつし、国保会計に繰り入れを行っています。しかし、基金の残額が約10億円残っています。これを最大限活用し、国保税の引き下げを実施すべきです。何より、保険証のとりあげは止めるべきです。国に対して、国庫負担を元に戻すように働きかけることを強く求めます。

高齢者に 正規保険証を!

後期高齢者医療特別会計については、保険料の軽減措置が拡大されていますが、滞納されている方が48名もいます。制裁措置として、6ヶ月の短期保険証となつています。高齢者にまで、不安を与えるこうしたやり方は、改めなければなりません。先進諸国の中で、高齢者を別にする保険を持つ国はありません。保険料の減免制度が必要ではないか。
国に対して、35人学級を実施するよう働きかけ、足利市がすすめている学びの指導員を大規模校へ増員することが求められています。



一般質問



1. 地域経済を活性化 中小企業などの 支援策について

長引く不況が続く、所得は減り続け、市民の暮らしや業者の営業は、困難に直面しています。こんな時に自治体は、市民を守るための限りの努力が求められます。

TPP参加交渉への反対を！

おせき：TPP（環太平洋連携協定）を進める方針を政府は打ち出しているが、公共事業、農業、食品の安全、医療、労働など市民に与える影響は大きい。反対の声を上げるべきではないか。

市長：国の動向を注視しながら慎重に対応。

TPPに対する市長の明確な答弁はありませんでした。

TTP参加による悪影響とは？

- ・農業と関連産業8兆円
- ・雇用350万人減少
- ・食料自給率39%→13%（農水省試算）
- ・米9割、牛肉・豚肉7割以上の減産
- ・ワカメ9割、コンブ7割、サケ・マス、ウナギ6割の減産
- ・国民皆保険制度もアメリカの医療保険、医薬品などの市場開放の妨げになると攻撃
- ・ISD条項「国家と投資家間の紛争解決条項」、規制をとりやめない場合は、企業が相手国を国際機関に訴え、賠償金を請求できる。

許せますか？
国を減ぼすTPP参加！



削減した1億円を 地元業者への支援強化に！

おせき：金融円滑化法によって貸付条件の変更（中小企業支援、住宅ローンなど）が行われてきたが、3月で終了への対策。中小企業者の金融支援として、利子補給を削減した商工振興費1億円を使って復活すべきではないか。

当局：融資期間の延長を行う。利子補給は、考えていない。商工会議所事業の融資制度に利子補給の補助を行う。減額となった1億円は、利用減少による融資預託金の減額。

再質問で、既存の中小企業に対する新規雇用対策（同等の創業支援補助金）や全庁あげての全企業への相談・訪問を提案したが、積極的な回答はなく、従来通りに対応する」と回答。中小企業の実態に合わない姿勢に終始しました。



2. 高齢者と障がい者、子ども 「やさしいまちづくり」

足利市は、一昨年から、公立保育所の4ヶ所の拠点化の方向性。保育所の統廃合、民営化に追われ、公立保育所の保育士や職員など心身ともに不安定な状況に追い込まれたと推察。子どもが安心して過すためには、遊び・食事・休息のできるスペースの確保と保育者の配置等保育環境の整備が重要。

子どもの最善の利益を 優先にした人事異動を！

おせき：人事異動で保育所の所長、翌年主任も替わり、年長を知る保育士がいなくなるという事態は、起きないように進めるべきではないか。

当局：全体のバランスの流れの中で人事配置をしていく。そこでの経験者がいなくなることを極力ないように人事課をお願いしたい。

保育士の正規化と 賃金の引き上げを！

おせき：公立保育所の保育士の正規化と時給引きあげの努力をしているが、また、国の施策として、民間保育園の保育士の給与は、どのくらい引き上げられるのか。

当局：保育所の統廃合、民営化をすすめる中、正規保育所の退職時補充を補助保育士で

対応。財政が厳しい中、平成23年より時給は20円引き上げ（時給九六〇円）処遇改善に努力。国は、民間保育士の給与を約八〇〇〇円、主任保育士約1万円程度、月額改善させる見込み。

保育士の人事異動に対して現場に責任を持つ子ども課ではなく、人事課に委ねる消極姿勢。再質問で、保育士は補助職員ではなく、嘱託・正規化への努力と1000円以上の時給引きあげをしましたが、現状維持の回答。

福祉タクシー券は 対象者すべてに！

障害者や高齢者が通院や買い物など外出するための手立ての拡大が重要です。福祉タクシー券は、自家用車の減免を受けた方は、支給されなくなつて3年になります。当初、約600人、影響額800万円。本人が運転出来ない為、外出はタクシーに頼らざるを得なくなつています。移送手段の拡充が求められています。



我が家に咲いた
アンネのばら

3. 子どもの学ぶ権利を 保障するために

「いじめ自殺」が各地でおき、多くの人が心を痛めています。足利でも民間団体が子どもにアンケートを行った結果、「大人はいじめ」に気づいて欲しい」と切実な声をあげています。学校教育においてどんな「大切な仕事」があらうと、子どもの命が一番大切だということ、子どもの安全への深い思いを確立することがなにより大切です。同時に忙しすぎる教員の状況を改善するために早急な少人数学級を進める努力です。文部科学省は、35人学級を2013年度は、見送りました。

国に働きかけるとともに市としての精一杯の努力が求められます。

学びの指導員を大規模校に増員すること、中学校の制服変更の問題を質しましたが、積極的な回答はありませんでした。制服は、統一、学校独自で見直し、現状維持のいずれかを選択する」という学校の意志に任せると回答。

編集後記

3月議会後、新しい市長が選出され、激動の状況となっています。市民生活を1歩でも前へ進めるために引き続き力を尽くします。



雷電神社の例祭に小学校、幼稚園の子どもたちが校外学習で訪れていました。

肺炎救済ワクチン 補助を早急に！

おせき：高齢者に肺炎球菌ワクチンの補助を県内で未実施は、足利市と上三川町だけになった。足利市も実施すべきではないか。

当局：実施に約6000万円（12月議会1億円と答弁）が必要。財政状況を勘案しながら、前向きに検討。

福祉タクシー券交付や肺炎球菌ワクチンの助成も積極的な回答となりました。